

諸 堂 年 代 (現存している本堂は 4 つ)

薬 師 堂 (46 年) (1655~1701) 現在飛び地にあり

1655 年の建立で、成田山に現在残っている建物の中ではいちばん歴史の古い物ですが (2013 年)改装され古いものはほとんどなし。

光明堂建立にあたり山上に曳屋され移動した。

1855 飛び地に再移動

光 明 堂 (157 年) 重要文化財 (1701~1858) 1856 移動 1964 再移動

1701 年 (元禄 14 年) に建立された旧本堂で、寛保 2 年 (1742) と明 59 (1768) の改修を経て、安政年間安政 3 年 (1856 年) 新本堂 (現釈迦堂) の建立にあたり、本堂の後方山上に移築、さらに昭和 39 年 (1964 年) 大本堂建立のとき現在地へ移されました。

安政 3 年 (1856 年) に「明王堂」から「光明堂」と改め、昭和 39 年 (1964 年) に現在の位置に移転されました。(山上に移設した時は東向きであったが、南向きにして少し後方に移動した)

釈 迦 堂 (111 年) 重要文化財 (1858~1968) 1964 移動

1858 年 (安政 5 年) に建立された前本堂であり、大本堂の建立にあたって 1964 年 (昭和 39 年) 現在地に移築されました。(100M 西側へ)

大本堂 (48 年 2016 年現在) (1968~現在) 1968 年 (昭和 43 年) に建立されました。

三重塔 重要文化財

1712 年 (正徳 2 年) に建立され、宝暦 7 年 (1757)、享和元年 (1801)、安政 5 年 (1858) に大修理が行なわれています。又昭和 58 年 (1983) 現在の姿に復元されました。(5 回修理)

額 堂 重要文化財

額堂とは、奉納額や絵馬を掲げる建築物であり、このお堂は文久元年 (1861) に当山で 2 番目の額堂として建立されました。第一額堂は(1821年)建立されたが昭和 40 年放火により焼失した。

仁王門 重要文化財 文政 13 年 (1830) 再建 古いものは 1560 年頃のものあり

一切経堂 享保 7 年 (1722 年) に建立 (1809) 再建

鐘 楼 1701 年 (元禄 14 年) に建立

現在の梵鐘は、昭和 43 年(1968)、人間国宝の「香取正彦氏」により鑄造。また香閣も同氏作

平和の大塔 昭和 59 年 (1984 年)

光 輪 閣 昭和 50 年 (1975 年) 建立。 地上 4 階、地下 2 階。

御護摩のご祈祷をされた信徒が、精進料理による坊入り接待を受けられるところです。

4 階の光輪の間は 480 畳敷の大広間、1 階は御護摩ご祈祷等の受付となっています

こわれ不動堂 明治 32 年 (1899 年) 御本尊は俱梨伽羅不動

聖徳太子堂 平成4年(1992)建立 太子の「和を以て貴し、となす」の理念に基づき、世界平和を願って建てられたという。

清龍権現堂 妙見宮 享保17年(1732)建立

弁財天堂 元禄年間(1688~1703)の建立

出世稲荷 このお堂は古く明治21年(1888年)に**再建**されたものです。
お堂の彫工は後藤 敬信(向拝竜裏側)「刻銘」と石川銀次郎(脇障子裏側)「刻銘」です。
御本尊は木像で宝永年間(1700年頃)に佐倉城主**稲葉丹後守(いなばたngoのかみ)**が寄進したとされています。

天満宮 明治20年(1887)に再建されたもので、祭神(さいじん)は「菅原道真公」

朝日観音 慶応3年(1867)建立。「朝日観音菩薩」を本尊とする

開山堂 昭和13年(1938)建立。開山堂は開山寛朝大僧正のご尊像を奉安するお堂です。
また堂内には歴代先師の御影が掲げられています。

成田山開基1000年記念事業として建立された**総檜作り**の建物です。

平成10年(1998年)の成田山開基1060年・開山寛朝大僧正(916年 - 998年)1000年御遠忌の記念として格天井に**松尾榮画伯**により、華麗なる**百華図**が描かれました。

「格天井は10×10の100」

総門 2008年(平成20年)建立